

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成16年12月2日(2004.12.2)

【公開番号】特開2003-141441(P2003-141441A)

【公開日】平成15年5月16日(2003.5.16)

【出願番号】特願2001-339352(P2001-339352)

【国際特許分類第7版】

G 06 K 7/01

G 06 K 7/00

G 06 K 7/015

【F I】

G 06 K 7/01 F

G 06 K 7/00 A

G 06 K 7/015 Z

【手続補正書】

【提出日】平成15年12月16日(2003.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

読み取対象に記録された一次元又は二次元のコードを光学的に読み取る読み取機構を備えると共に、前記読み取対象に対して読み取位置を示すための複数個のマーカ光を照射するマーカ光照射手段を備える光学式情報読み取装置であって、

前記複数個のマーカ光は、前記読み取機構の読み取視野の中央部を示すマーカ光を含むと共に、前記マーカ光照射手段は、前記読み取視野の中央部を示すマーカ光を残りのマーカ光と区別できるように、それらマーカ光の色を異ならせることを特徴とする光学式情報読み取装置。

【請求項2】

読み取対象に記録された一次元又は二次元のコードを光学的に読み取る読み取機構を備えると共に、前記読み取対象に対して読み取位置を示すための複数個のマーカ光を照射するマーカ光照射手段を備える光学式情報読み取装置であって、

前記複数個のマーカ光は、前記読み取機構の読み取視野の中央部を示すマーカ光を含むと共に、前記マーカ光照射手段は、前記読み取視野の中央部を示すマーカ光を残りのマーカ光と区別できるように、マーカ光の連続点灯と点滅により、あるいはマーカ光の点滅周期を変えることにより、前記読み取視野の中央部を示すマーカ光と残りのマーカ光との照射形態を異ならせることを特徴とする光学式情報読み取装置。

【請求項3】

前記残りのマーカ光は、少なくとも2個が照射され前記読み取視野の範囲を示すことを特徴とする請求項1又は2記載の光学式情報読み取装置。

【請求項4】

前記残りのマーカ光も、その位置が互いに区別できるように異なる照射形態で照射されることを特徴とする請求項1ないし3のいずれかに記載の光学式情報読み取装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明の光学式情報読取装置は、複数個のマーク光を読取対象に対して照射するものにあって、読取視野の中央部を示すマーク光を残りのマーク光と区別できるように、それらマーク光の色を異ならせるように構成したものである（請求項1の発明）。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】